

村民アンケート（高校生以上）
結果まとめ

8月22日

伊平屋村DX推進計画 村民アンケート（高校生以上） 概要

1. 実施内容

伊平屋村DX推進計画を推進するにあたり、デジタル技術の活用に対する村民の意識や、その活用の実態について、アンケートにより調査・分析した。

2. 時期

2024年 6月8日（土） ～ 6月23日（日）

3. 対象

伊平屋村の村民全員 （紙アンケートは1,005部 配布）

4. 方法

オンライン アンケートと紙アンケートのハイブリッド形式

※ 青年会にアンケート回収支援を依頼した。

5. 回答数・回答率

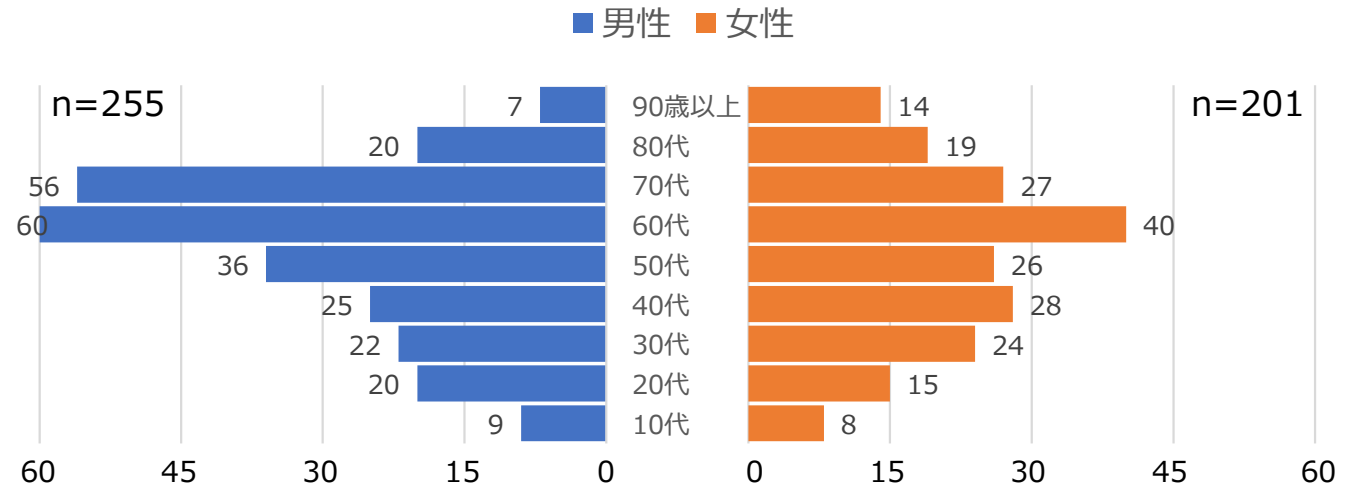
有効回答数 504件の回答

回答率 50.1 % : 504/1005

1. 回答者の内訳について

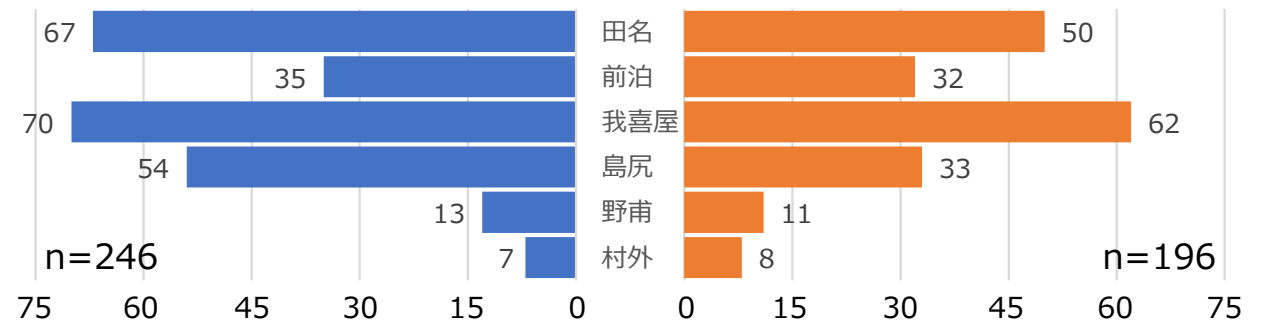
1. 年代・性別 別の回答者の内訳

年代・性別分析に対する有効回答数は、男性255件、女性201件であった。
男女ともに回答者の分布は、60代をピークとなっていた。



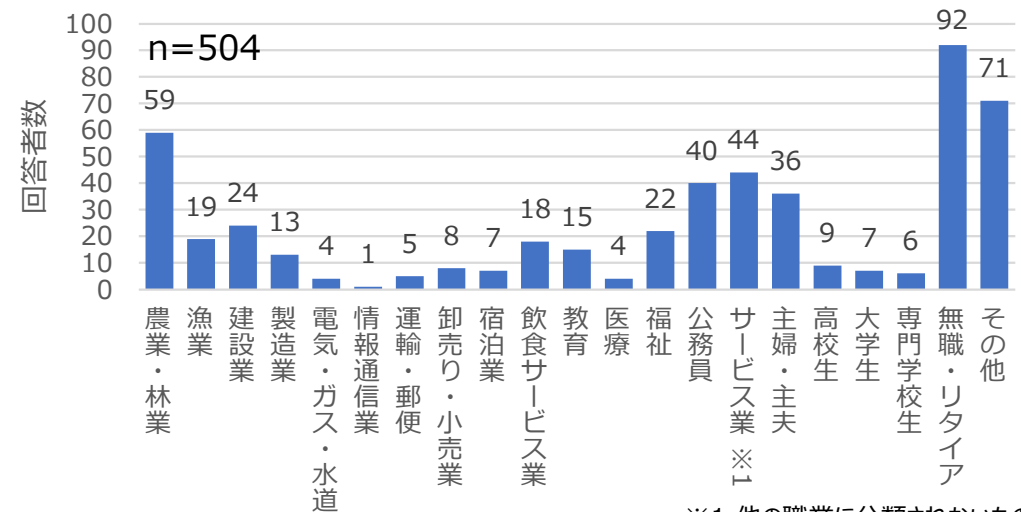
2. 居住区・性別 別回答者の内訳

居住区・性別分析に対する有効回答数は、男性246件、女性196件であった。
回答者数は、男女ともに我喜屋、田名、島尻、前泊、野甫、村外の順で多かった。

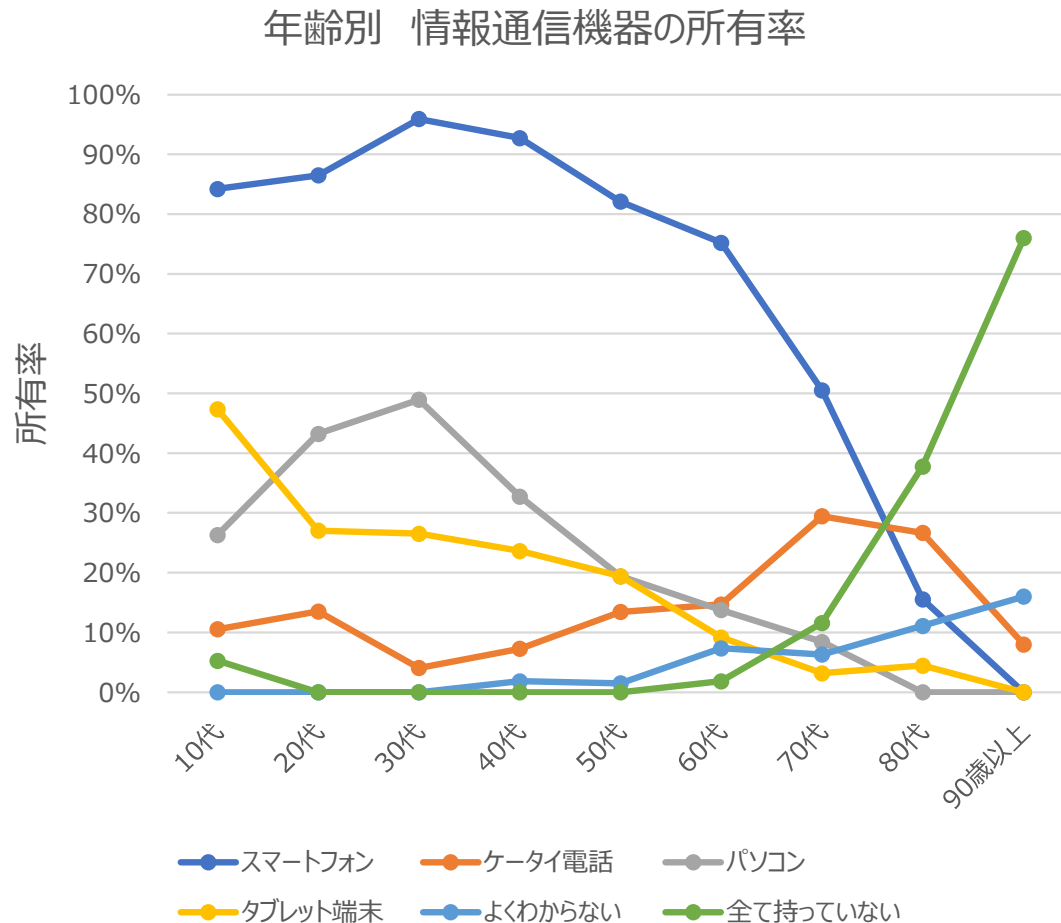


3. 職業 別回答者の内訳

職業に関する有効回答数は、504件であった。
その他を除けば、「無職・リタイア」が最も多く、次いで、「農業」や「サービス業」「公務員」が多かった。



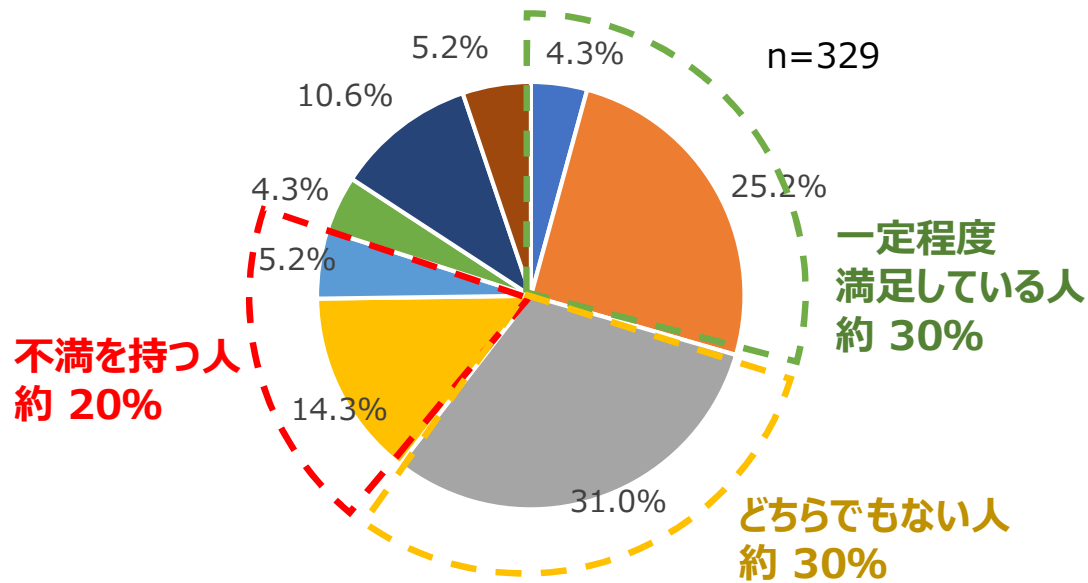
2. 情報通信機器の所有率について



- 60歳代まではほぼ8割の人が何らかの情報通信機器を所有している。
伊平屋村のデジタル化/DXのインフラは整いつつある。
- 70歳代まではスマートフォンの所有率が一番高い。
50歳代以下 80%超 (5人中4名)が所有
60歳代以下 75%超 (4人中3名)が所有
- 70歳代以上では、スマートフォン・パソコン・タブレットの所有率が低くなっている。
特に、高齢者向けのデジタル活用支援策が必要。

3. インターネットの通信回線について

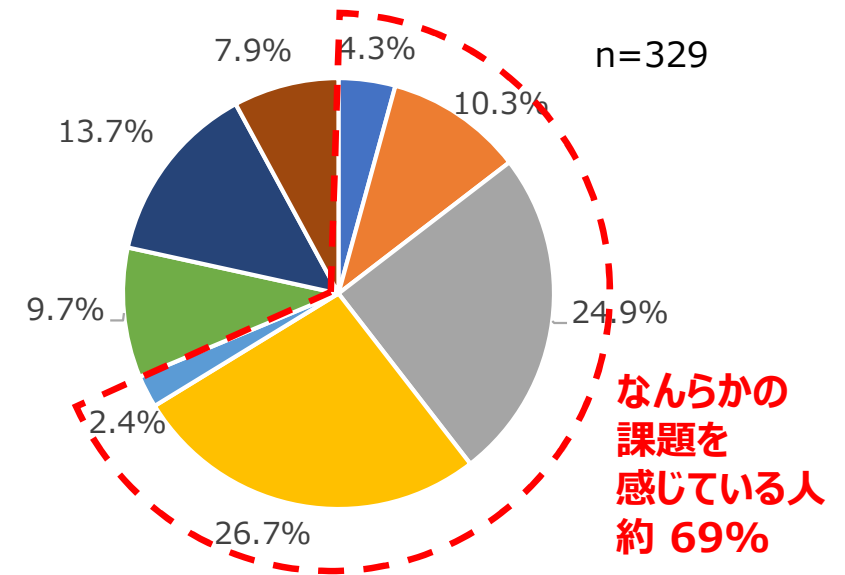
1. インターネットの通信回線に関する満足度について



- 大変満足している
- 満足している
- 満足でも不満でもない
- あまり満足していない
- 不満
- インターネット回線を使っていない
- よくわからない
- 不明

- インターネットの通信回線に関して不満を持つ人は約 20%存在する。

2. インターネットの通信回線で改善して欲しいことについて



- そもそもつながらない
- 通信がよく切れる
- 通信速度が遅い
- 通信料金が高い
- 希望する回線が自宅で使えないこと
- 特にない
- よくわからない
- 不明

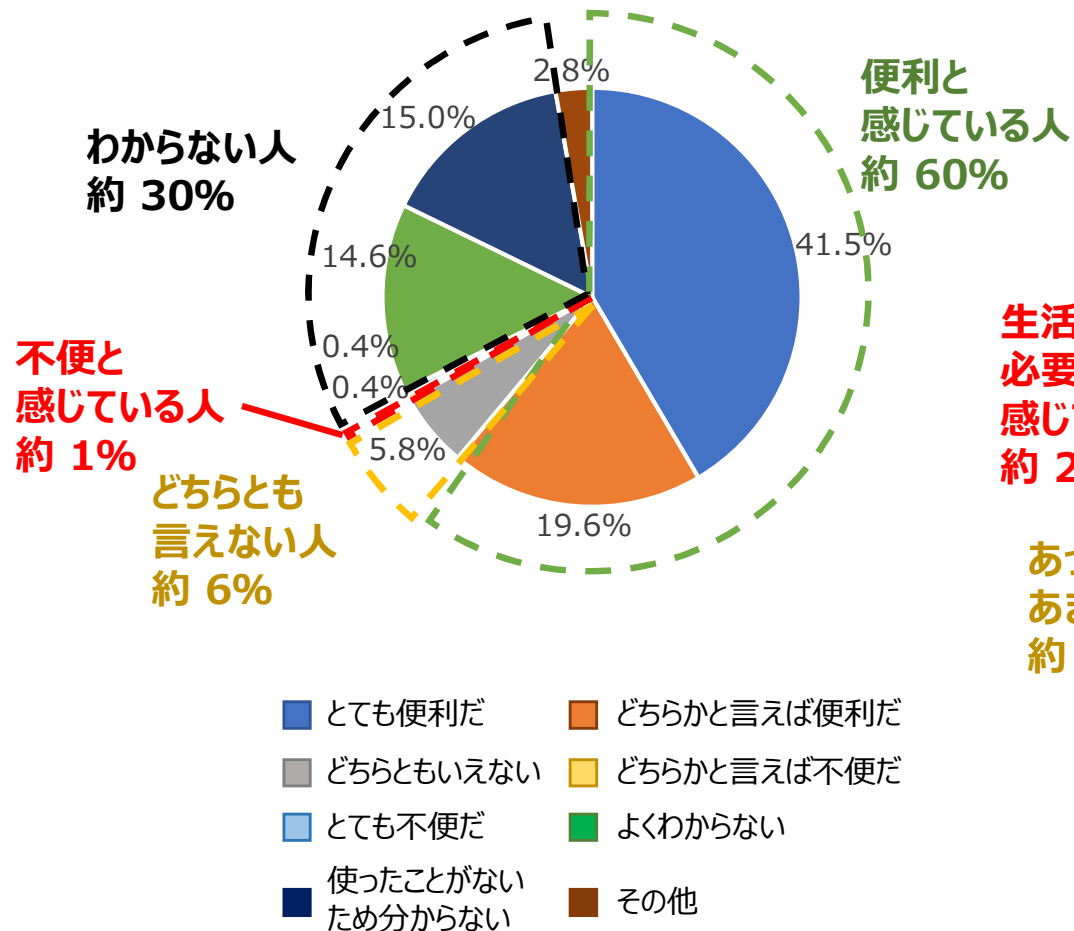
- インターネットの通信回線に関して通信回線に関する満足度（左のグラフ）について、満足していない人は約20%だったが、なんらかの課題を感じている人は7割程度存在する。

4. デジタル技術についての意識調査

1. デジタル技術について感じていること

＜便利さについて＞

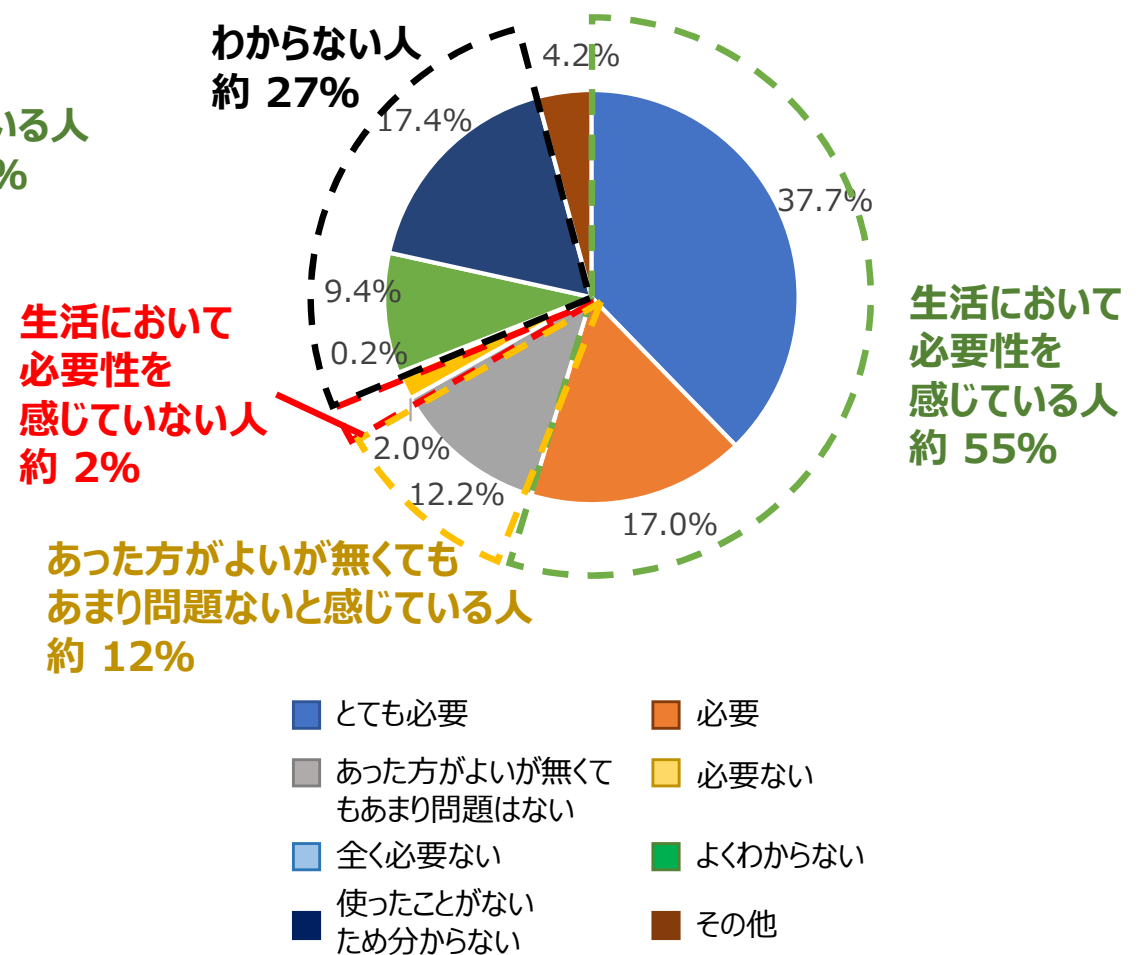
n=501



- デジタル技術の便利さについて
半分以上（約 60%）が便利と感じている。

＜必要性について＞

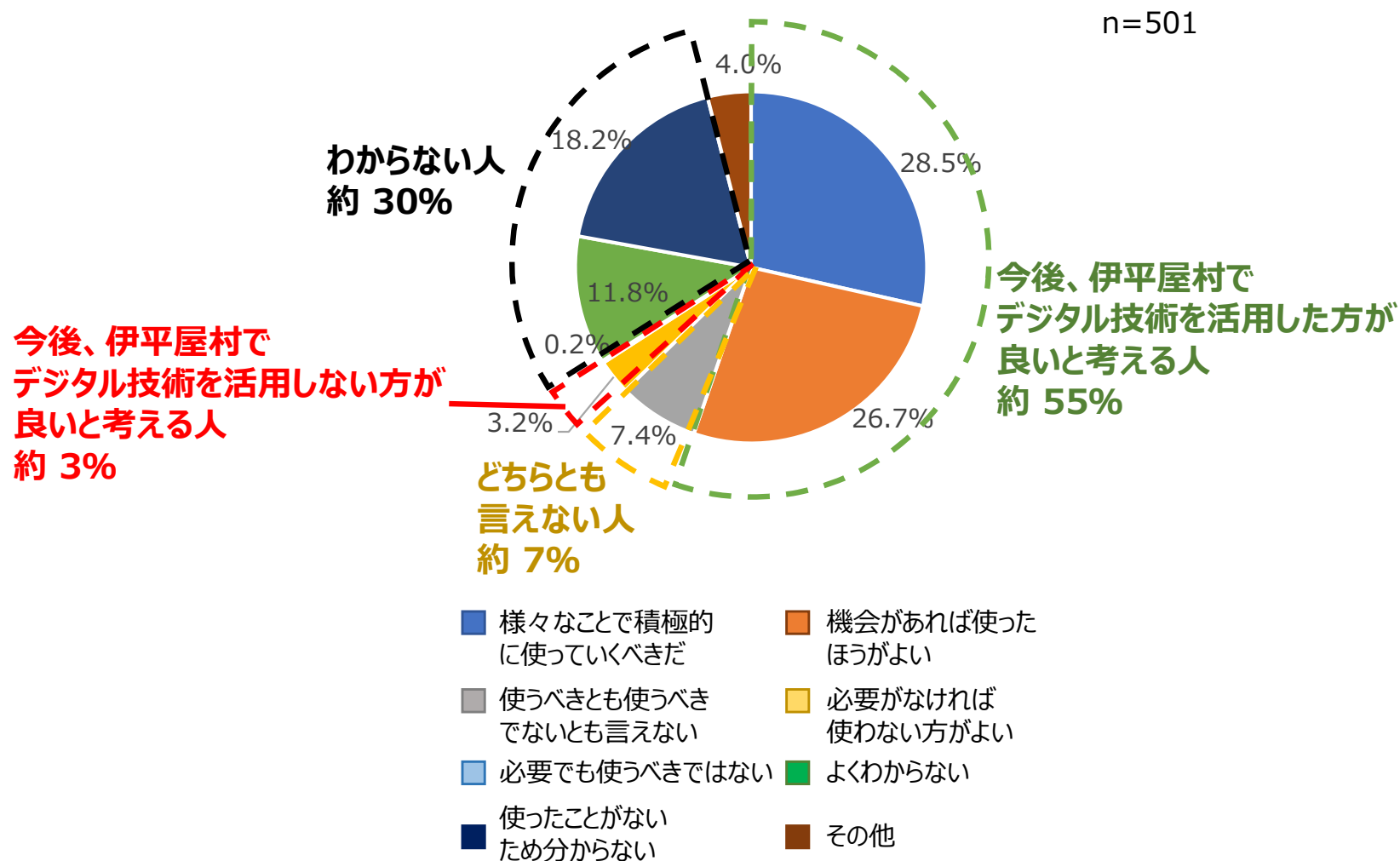
n=501



- デジタル技術の必要性について
半分以上（約 55%）が必要性を感じている。

1. デジタル技術について感じていること（つづき）

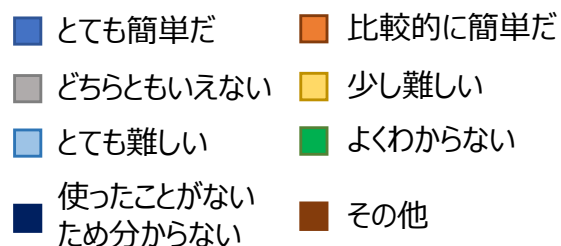
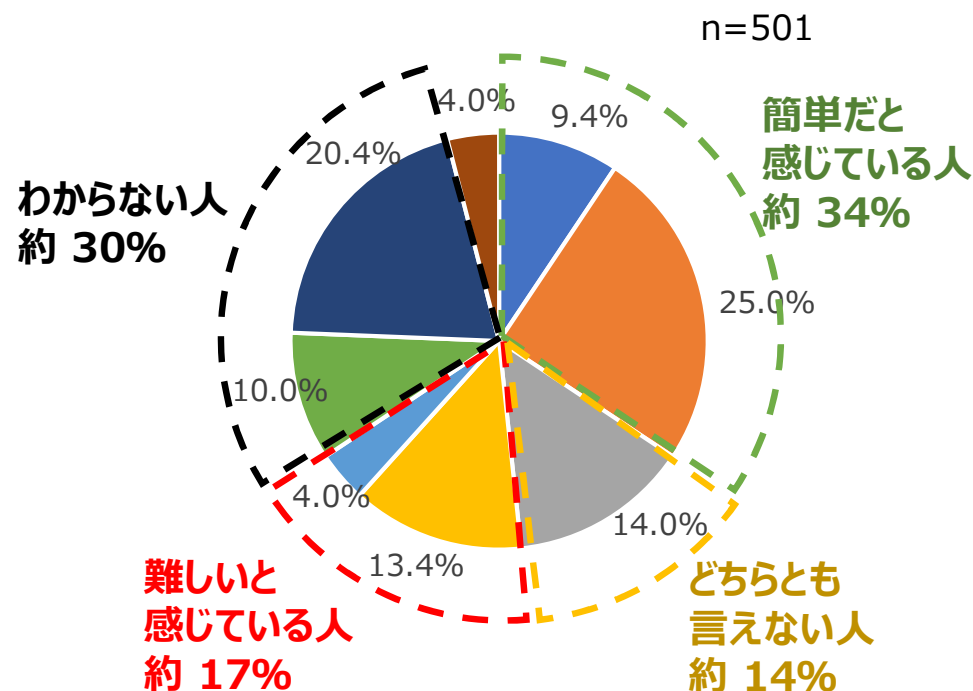
＜今後の伊平屋村でのデジタル技術活用について＞



- 今後のデジタル技術の活用について
半分以上（約 55%）が今後、伊平屋村で
デジタル技術を活用した方がよいと感じている。

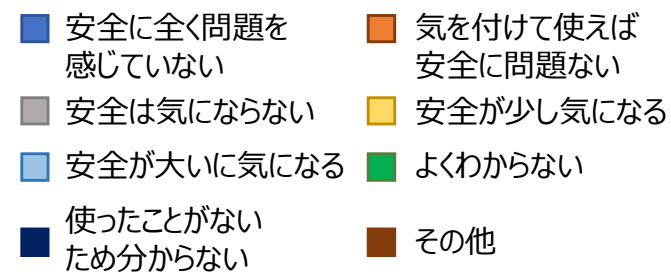
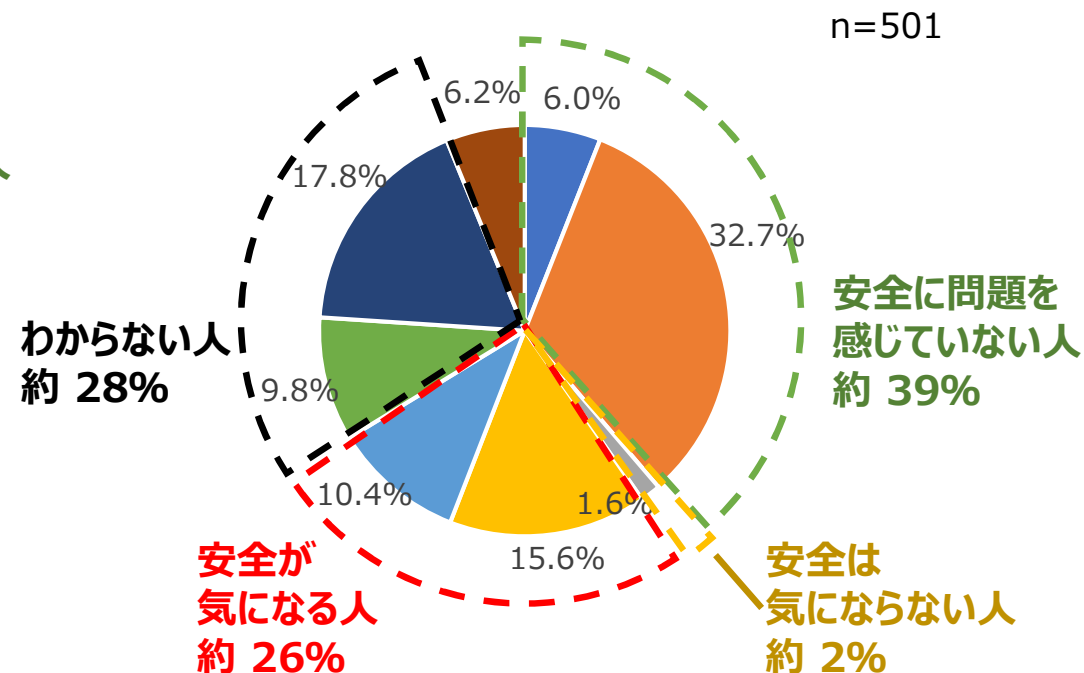
1. デジタル技術について感じていること（つづき）

＜利用の難しさについて＞



- デジタル技術の難しさについて
難しいと感じている人（約 17%）が一定程度いる。

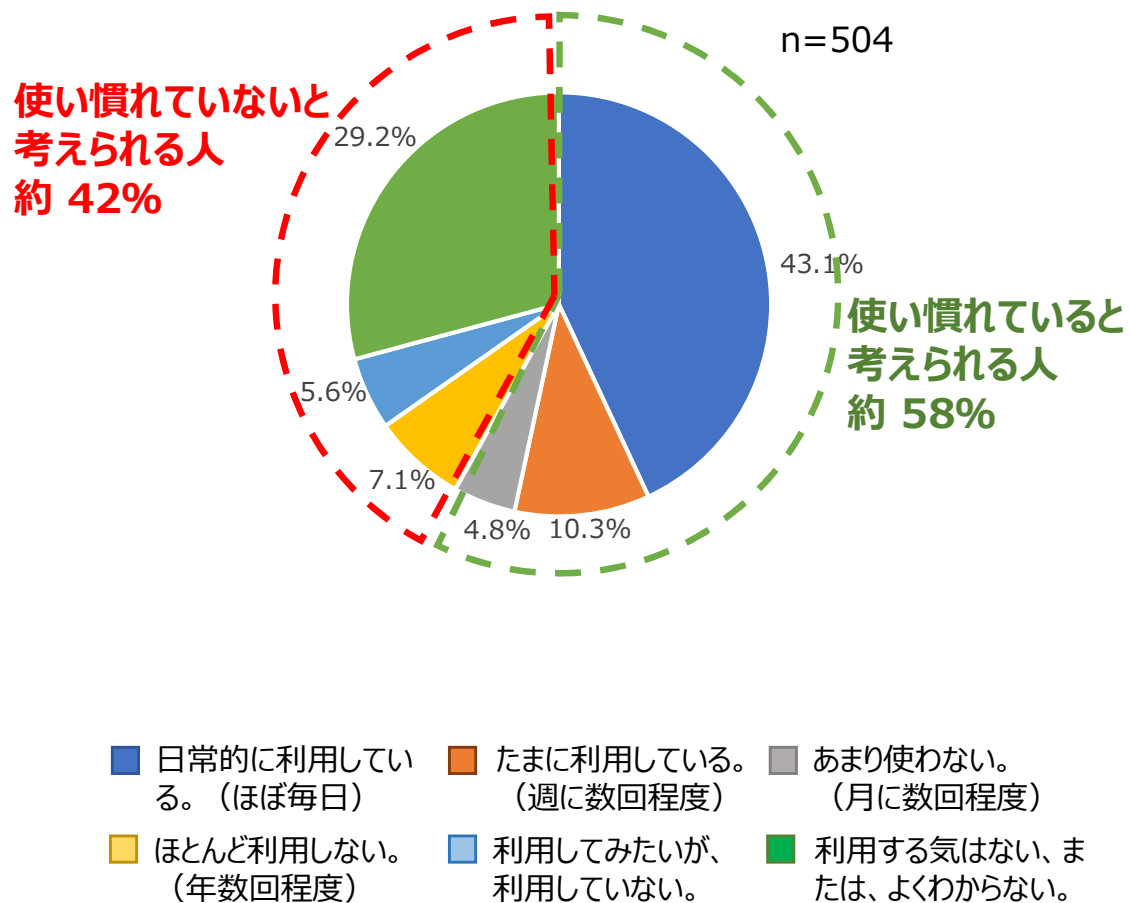
＜安全性について＞



- デジタル技術の安全性について
安全について気になる人（約 26%）が一定程度いる。

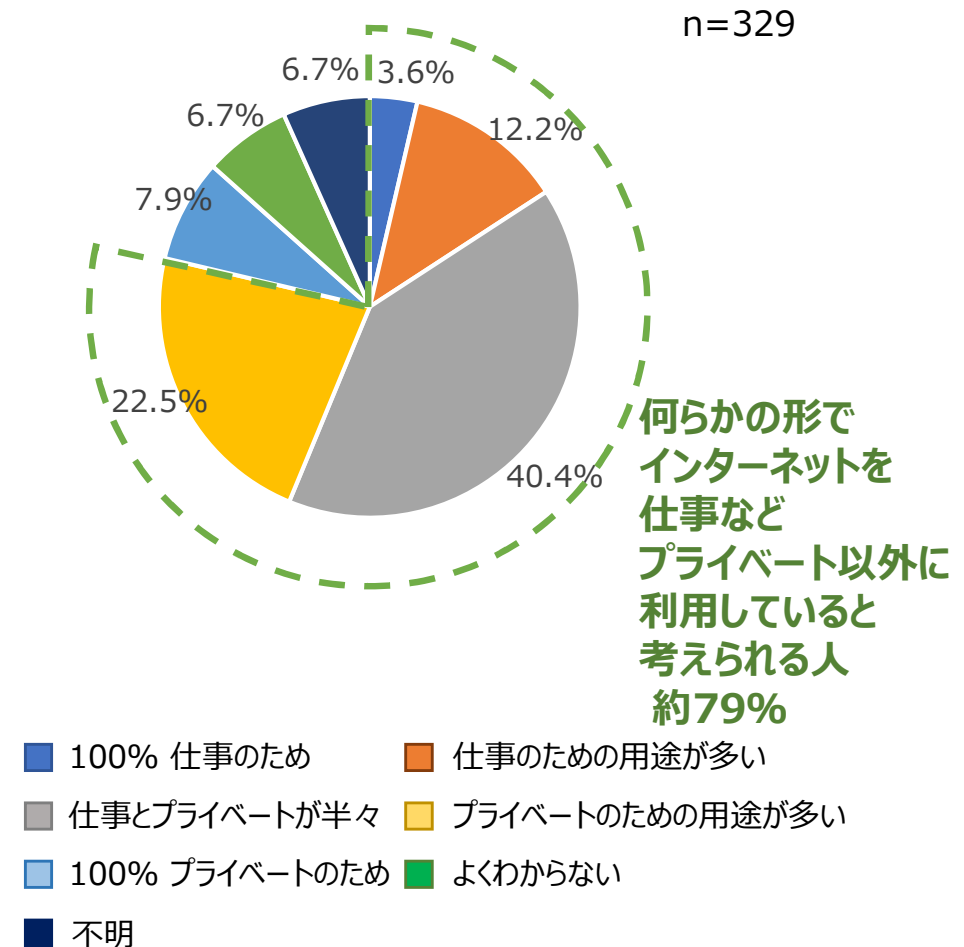
5. インターネットの利用について

1. インターネットの利用状況について



- インターネットの利用状況について
使い慣れていると考えられる人が約58%いる。
使い慣れていない人は約42%、その内、約
35%はインターネットを利用していない。

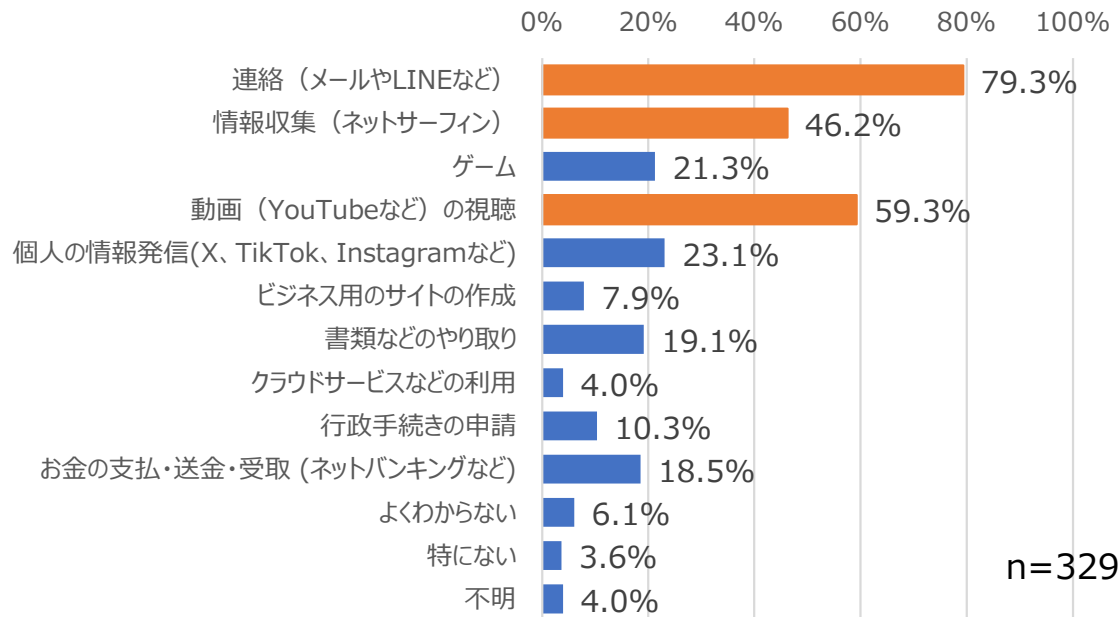
2. インターネットの用途について



- インターネットの用途について
何らかの形でインターネットを仕事などプライ
ベート以外に利用していると考えられる人は、
約8割になる。

6. インターネットの利用内容について

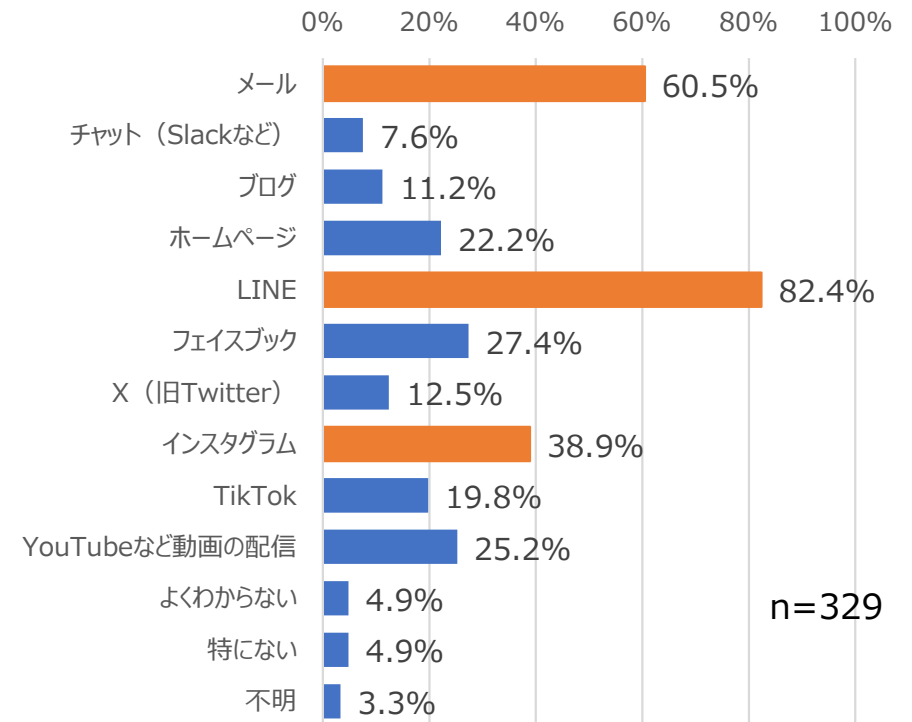
1. インターネットの利用目的について



インターネットの利用目的として、連絡（メールやLINEなど）（79.3%）、動画（YouTubeなど）の視聴（59.3%）、情報収集（ネットサーフィン）（46.2%）が多かった。

動画の視聴も一般化しており、行政の情報発信の手段としての活用を検討してもよい時期にきている。

2. 利用したことのある情報収集・発信、交流のためのサービスについて

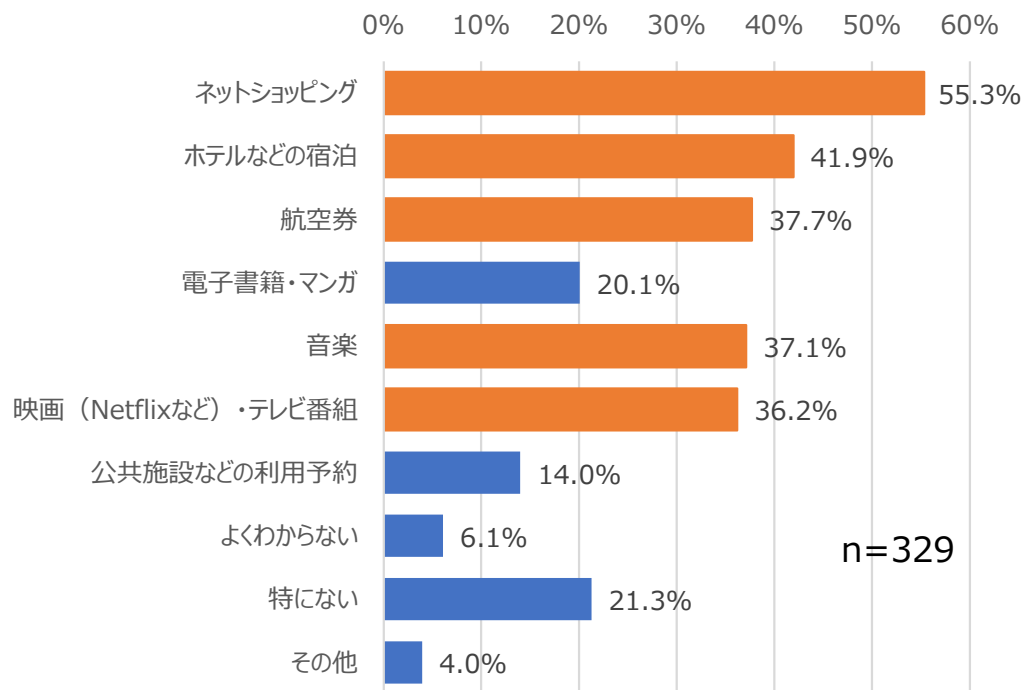


LINE（82.4%）やメール（60.5%）、Instagram（38.9%）の利用率が高かった。

これらの利用率を踏まえると、行政の情報発信に関して、LINEやメールが最も有効なツールであると考えられる。

7. 予約・購入に関するサービスの利用について

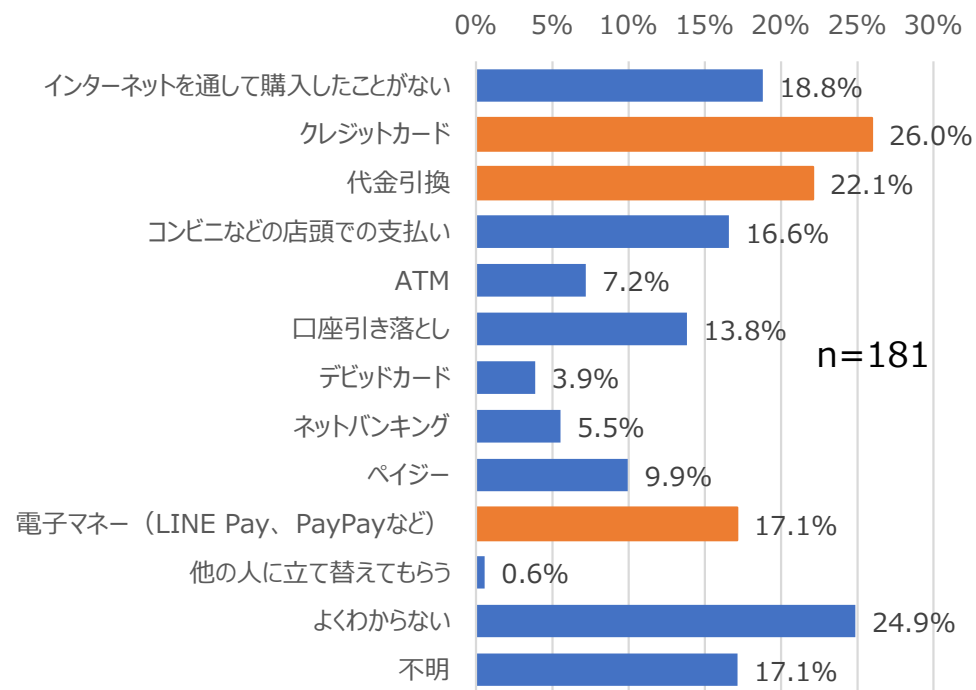
1. インターネットを通して利用したことがある、予約・購入に関するサービスについて



ネットショッピング（55.3%）、ホテルなどの宿泊（41.9%）、航空券（37.7%）、音楽（37.1%）、映画（Netflixなど）・テレビ番組（36.2%）に関する予約・購入サービスの利用率が高かった。

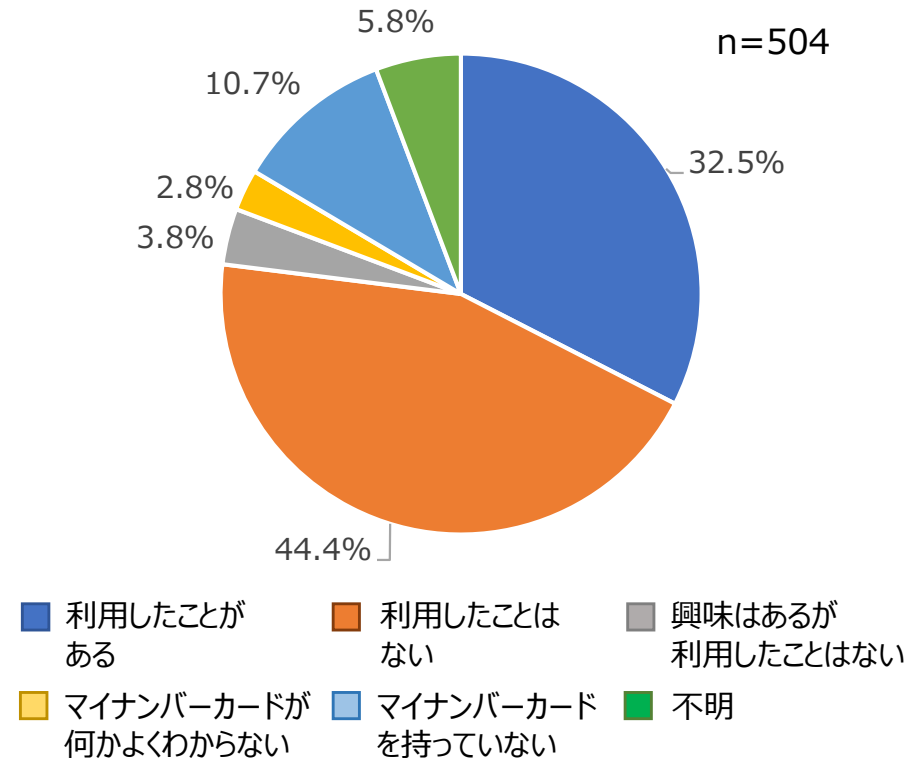
なお、20代から40代では、ネットショッピングの利用経験が7割を超えており、一般化してきていると言える状況である。

2. インターネットでの購入時の主な支払い方法について（複数回答）



支払い方法として、クレジットカード（26.0%）、代金引換（22.1%）、電子マネー（LINE Pay、PayPayなど）（17.1%）が多く利用されていることが分かった。電子マネーの利用も広がってきていることがわかる。行政の公金収納などについては、これらの状況を踏まえて検討する必要がある。

8. マイナンバーカードの利用状況について



総務省発表によると、令和6年6月末時点での、伊平屋村におけるマイナンバーカードの交付状況は74.3%であった。今回の調査では、マイナンバーカードを利用したことがある人は32.5%で、利用したことがない人（44.4%）よりも少なかった。

マイナンバーカードの普及率と利用率を高めるために、マイナンバーカードの利便性の向上とその周知が重要であると考えられる。

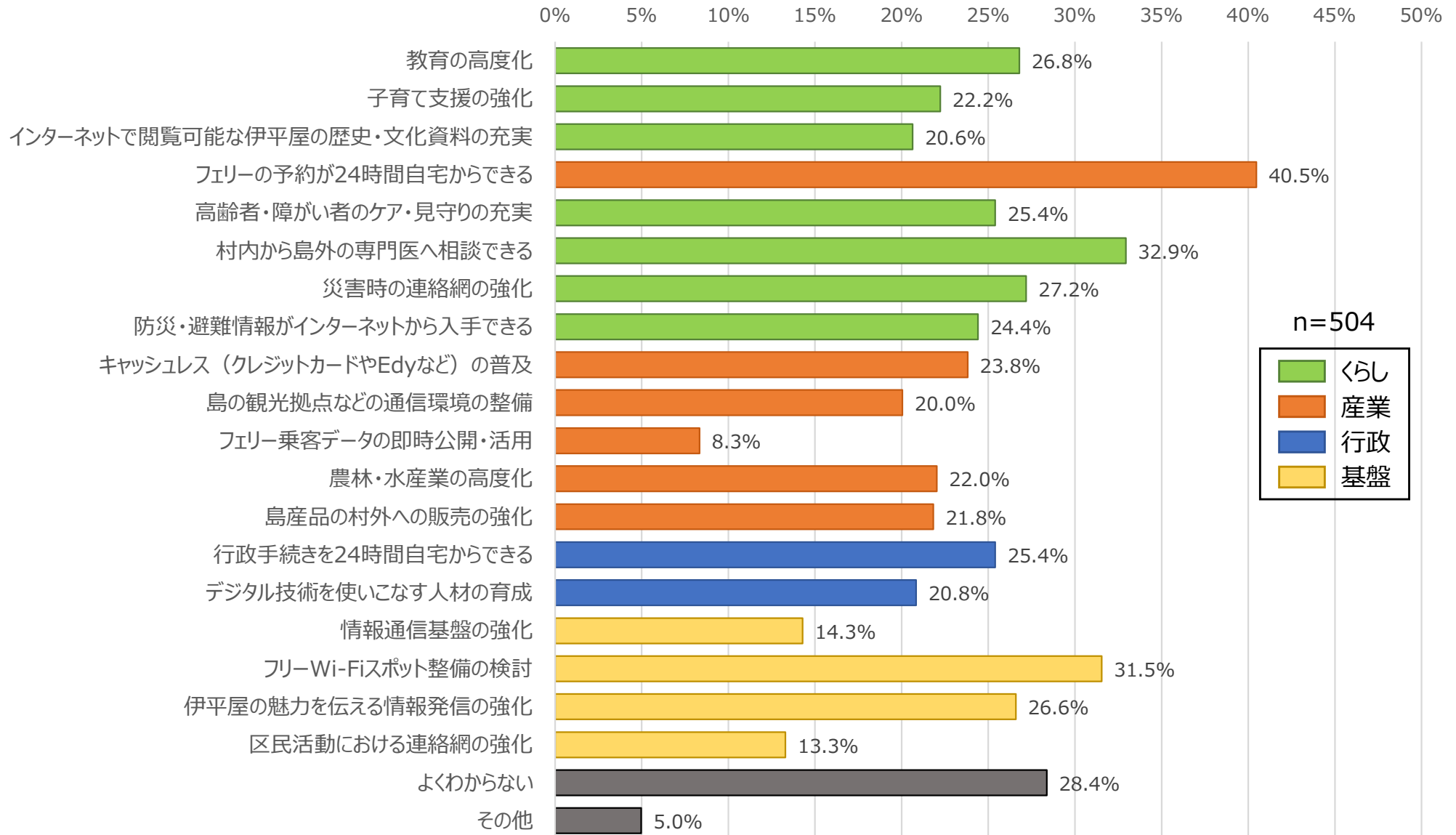
伊平屋村DX推進計画 村民アンケート まとめ

項目	アンケート分析結果
情報通信機器の 所有率	60歳代までは各世代の75%～95%程度の村民がスマートフォンを所有しており、伊平屋村のデジタル化/DXのインフラは整いつつあると言える。ただし、70代以上の村民では、情報通信端末を持たない人も多く、デジタル活用支援が必要である。
インターネットの通 信回線について	インターネットの通信回線について、満足していない人は約20%だが、回線の接続に問題を抱えている人(約15%)、通信速度の改善を望んでいる人(約25%)など何らかの課題を感じている人は約7割存在する。また、「村民からのご意見（自由意見）」でも通信環境の改善を訴える人が一定数いる。課題の中でも、回線の接続に関する問題については、通信格差が生じないよう、その必要性を見極めながら早急に対応すべきと考えられる。 何らかの形でインターネットを仕事に利用している人の割合は約79%にのぼり、産業振興のためにも情報通信基盤の整備が重要である。
デジタル技術につ いての意識調査	デジタル技術の利用について、便利である、生活に必要である、今後伊平屋村でデジタル技術を活用すべきであると考える人は全体の半分以上おり、伊平屋村におけるデジタル化/DXを推進する気運は形成されつつあるものと考えられる。 その一方で、デジタル技術の利用について、難しい(約17%)、安全について気になる(約26%)、デジタル技術がよくわからない(約3割)と答えた人が一定程度おり、デジタル技術の利用について課題を抱えている人へのデジタル活用支援が必要である。
インターネットの利 用について	インターネットを一定程度活用し、使い慣れていると考えられる人は約58%であった。インターネットを利用したことがある人の半数以上が、ネットショッピングなど現金のやり取りを伴う取引について利用経験があるとしており、オンラインでの取引が一般化してきている。これらを踏まえ、インターネット利用の慣れという観点からも、伊平屋村のデジタル化の素地は形成されていると考えられる。ただし、インターネットを使い慣れていない人も4割程度存在し、それらの人に対しては、オンライン申請などデジタル技術活用のための支援が必要であると考えられる。
行政サービスにつ いて	インターネットを利用している人の内、82.4%がLINEを利用しており、60.5%がメールを利用している。このことから、LINEやメールが最も有効な情報発信ツールであると考えられる。 また、村民のインターネット利用について、従来の連絡や情報収集に加え、動画の視聴が一般化しており、行政の情報発信の手段として動画の活用も検討に値する。 インターネットを通じた支払いでは、クレジットカードによる支払いが主流であるものの、電子マネーの利用も広がっており、公金収納などにおいては、これらの状況を踏まえて検討する必要がある。
マイナンバーカード について	令和6年6月末時点での、伊平屋村におけるマイナンバーカードの交付状況は74.3%であったが、今回の調査では、マイナンバーカードを利用したことがある人は32.5%で、利用したことがない人は44.4%だった。 マイナンバーカードの普及率と利用率を高めるために、マイナンバーカードを利用するサービス開発を推進したり、伊平屋フェリーの住民用予約システムが完成した際に住民を集めて、その利用方法に関する説明会を開催したりするなど、マイナンバーカードの利便性の向上とその周知の取組が重要であると考えられる。

9. デジタル技術への期待について

1. デジタル技術を使って実現して欲しいこと

伊平屋村DX推進計画の骨子の施策に基づき作成した項目について、村民に将来実現したいこと全てを選択して頂いた。その結果を下にまとめる。



2. デジタル技術を使って実現して欲しいこと まとめ

「くらし」「産業」「行政」「地域」ごとに、実現して欲しいことの上位を下表にまとめた。

分野	分類	実現して欲しいこと	備考
くらし	医療	村内から島外の専門医へ相談できること	
	防災・減災	災害時の連絡網の強化	「10. 村民からのご意見」でも、防災無線関連のご意見が多数あった。
	教育	教育の高度化	
産業	フェリーの予約	フェリーの予約が24時間自宅からできる	自宅からの予約だが、現在、フェリー予約システムの構築は、産業分野の施策のため、産業に分類。
	キャッシュレス	キャッシュレス（クレジットカードやEdyなど）の普及	
	農林水産業	農林水産業の高度化	
行政	オンライン手続き	行政手続きを24時間自宅からできる	
	デジタルデバйд	デジタルデバйд対策	「12. 村民からのご意見」で多数意見があったため、追加。
地域	フリーWi-Fi	フリーWi-Fiスポット整備の検討	「12. 村民からのご意見」でも、情報通信基盤関連のご意見が多数あった。
	情報発信	伊平屋の魅力を伝える情報発信の強化	「12. 村民からのご意見」でも、関連するご意見が一定数あった。

10. 村民からのご意見

1. 伊平屋村におけるインターネットなどのデジタル技術の活用に期待することなどへのご意見

伊平屋村におけるインターネットなどのデジタル技術の活用に期待することなどへの主なご意見は、以下のとおり。

No	分類	ご意見
1	DX全般	離島というハンデはあるものの、今ではインターネットという便利な機能があるのでフル活用してほしい。また、人手不足でもあるので職場等の仕事効率化のため、ぜひ取り入れて欲しいことと併せて、デジタル関連の育成も行ってほしいと思います。
2	DX全般	伊平屋は離島なので、物理的に不便なところが多くある。しかし、インターネットを整備しデジタル技術を向上することにより利便性が増す。各家庭にWi-Fiを整備しタブレット端末を導入させることにより、情報をより確実に伝達させることができる。今の防災に関する放送では、各家庭にその情報が届いているかは不明確である。特にテレビをつけている場合、ほとんど聞こえない。積極的に整備し、情報格差をなくすれば、さらに移住者は増すことであると思う。行政に積極的なインターネット等のデジタル技術の導入をお願いしたい。未来の住みやすい伊平屋島のために…！！
3	通信回線	野甫島と島尻の一部の場所でインターネットに繋がりにくいので改善して欲しい。
4	通信回線	インターネット回線を良くして欲しい。電話では連絡がよく途絶えて、困っている。
5	通信回線	西線の通信強化。RBCをつなげる。今日うがなびらさが聞ける。
6	通信回線	島のどこに行ってもどの機種でも通信が繋がるように
7	通信回線	電波の入らない所があるので（ソフトバンク等）、弱い所でもっと電波が入ればいいなあ。
8	通信回線	県内で、すべて繋がる様にしてほしい。
9	フリーWi-Fi	観光客の利便性向上のため、無料Wi-Fiの拡大
10	フリーWi-Fi	無料Wi-Fiエリアの拡大。
11	フリーWi-Fi	フリーWi-Fiの強化
12	フリーWi-Fi	Wi-Fi環境が、島全体で拡充できたら素晴らしいと思います。
13	フリーWi-Fi	①村内全域フリーWi-Fi導入してほしい。②電線を地下に埋めてほしい。（自然災害の影響を受けないため&観光的にも電線電柱無いと美しいから）

1. 伊平屋村におけるインターネットなどのデジタル技術の活用 zu 期待することなどへのご意見（つづき）

No	分類	ご意見
14	防災無線	どこにいても電波があるようにしてほしい。防災無線なども放送せずにネット上にupしてほしい
15	防災無線	防災無線の放送、毎回聞こえないので、文字化してケイタイに送られてくると色々助かります。本島に出ている時でも情報が知れるので、そうなってほしいです。診療所もネット化して待ち時間がへると嬉しいです。
16	防災無線	防災無線で流している内容をスマホで確認できるようにしてほしい。
17	防災無線	防災無線で毎日流す放送をインターネットでも見れるようにしてもらいたいです。
18	防災無線	防災無線だけでは、聞こえなかったすることが多いため、放送内容をネットで確認できるサービスがあると助かります。
19	防災無線	防災無線が入らない村営地域などもあり、又19:30の放送時間が子育て世代からしたら家事や、子の世話で忙しい時間帯なので確実に聞くことができず、村の情報が入らず困ることがよくある。今、お年寄りになどもスマホに変わってきているので、他の離島の様に村や、防災の情報を1つにまとめて誰でも気軽に見返せる様にしてほしい。島外から来た人や、島の人に改めて島の魅力や各売店などのお得情報などを1本化して、島全体をITで上手く有効活用しても良いと感じる。若い人にはLINEの友達追加で見れる、など気軽にアクセスできると、使用率が上がると思う。※小学校が使っているスクリの様な情報の流し方や久米島が使っている町民への情報提供はとても良いと思った。子育て世代からしたら、子が寝て、落ち着いてからしかケータイを触れないので、夜遅くからでも、どんな情報が流れ出てるか、確認出来ると非常に有難いと思う。
20	防災無線	他の離島のように、防災無線で流した情報を、随時イヘヤネットで見れるようにしてほしい。無線が入らない家庭もあるから。ぬふやが発信している様に、弁当の残りや、仕上がった情報などを他の売店や弁当屋にも発信してもらおうと、フードロスが減ると思う。上手くネット発信を使い、購買意欲を持たせるのも良いと思う。
21	防災無線	デジタル技術の活用よりも、自宅に居ても防災無線が聞こえない事があり不便に感じて居ます。またQAB放送の市町村からのお知らせも2022年5月を最後に活用されていません。防災無線の整備QAB放送の市町村からのお知らせの有効活用の方がデジタル化より先に行なって欲しいです。防災放送の内容をテレビのデータ放送にも反映してほしい
22	防災無線/診療所	村内放送している内容などが携帯で見れるシステム構築。診療所を通してオンライン診察ができるように。（専門医と）

1. 伊平屋村におけるインターネットなどのデジタル技術の活用に期待することなどへのご意見（つづき）

No	分類	ご意見
23	キャッシュレス	タッチ決済が使える場所を増やしてほしい。
24	農林水産業振興	農水業等への応用と人材育成が急がれると思います。
25	観光振興	島でしか体験できないこと、島に来島しないとできないことと、島に来なくてもできること（予約など）の差別化。資料などは資料館を訪れてもらうスタイルでもよいかもしれない。
26	観光振興	村のアピールに特に力を入れてほしい。特に観光に力を入れる事。
27	観光振興	1・伊平屋島の 魅力 夜空を覆う 満天の星空 を情報発信する。 2・伊平屋島の魅力 美しい海岸線(白い砂浜、透明な海水、珊瑚礁) を情報発信する。 3・伊平屋島の魅力 美しい山並み を情報発信する。 4・伊平屋島の魅力 美しい田んぼ、サトウキビ畑 を情報発信する。 5・伊平屋島の魅力 美しいクバの木クバ山、クマヤ洞窟、とらず岩を情報発信する。 6・伊平屋島の魅力 美味しい黒糖、もずく、塩を情報発信する。 7・伊平屋島の島外には伊平屋島出身の方が数多くいらっしゃると思います。その様な方々にも情報発信をして助けて頂いて 美しい伊平屋島をアピールする事が出来ればと思います。多くの方々の助けが有ればきっと成功するのではと思います。
28	フェリー	フェリーの予約ができるようにお願いします！ 診療所もネット予約できたらもっとうれしいです！！
29	フェリー	リアルな予約システムに期待。フェリーの予約で当日の予約を入れたつもりが翌日からの予約となっており、折角システム利用しても残念な感じがあった。（結局、人との調整が入り、） 決済等の兼ね合いもあると思うが、当日30分前までは対応してもらいたい。
30	フェリー	人手不足を補う。フェリー乗客数の内訳。

1. 伊平屋村におけるインターネットなどのデジタル技術の活用に期待することなどへのご意見（つづき）

No	分類	ご意見
31	行政サービス	行政からの各種の情報がインターネットで得られるようになったらいいと思います。
32	行政サービス	マイナンバーカードを使いコンビニで住民票などの書類が取得出来るのが非常に便利だった。そのシステムを導入して欲しい。
33	行政サービスなど	以前、豊見城市に住んでいた時には、LINEで災害避難情報・図書館のお知らせなどをすぐに見ることができ、また市のホームページにもリンクしていたので、知りたい情報がすぐに見ることが出来て便利でした。伊平屋村では防災無線を使ったお知らせが多いですが、自宅からは立地的に無線の音が聞き取りにくいので、スマホでお知らせ通知が届くと生活する上で便利だと感じます。(船の運行状況(欠航など)も)。図書館が充実していないので、電子図書の普及も期待します。また、本島に比べると物資が簡単に手に入らないので、例えば古着や本・農機具や家電など、村内で物資のやりとりが出来る掲示板サイト(ex.ジモティー)があると便利かと思います。村のホームページは、情報量が少ないので活用する方は少ないと思います。村民も観光客も参考になるような情報の掲載を期待します。
34	デジタルデバイド	デジタル活用促進はいいと思うが、高齢者・年配の方達へのフォローが大切。業者だけでなく、島ぐるみで考えるべき！！
35	デジタルデバイド	ウィルスに対して絶対的な対策。年寄りにも理解できる新システムの内容の解説。
36	デジタルデバイド	デジタル社会と言われて久しいですが、期待することもあります。そもそもインターネットで、村内において何ができるのか、今いわからないので、そのあたりを村民に説明してほしい。
37	デジタルデバイド	若い世代だけでなく中高年者でも利用できるように技術普及の学習の場が必要。
38	デジタルデバイド	デジタル技術を大いに利用したいが、利用の仕方を熟知していないのでその教室を多めに開催して欲しいです。
39	デジタルデバイド	スマホをもっと使いこなせるようになりたい。使い方の指導とかあったらいいなー
40	デジタルデバイド	インターネット利用の仕方が良くわからない。不満。